

【小学校の部】 優秀賞

歩いて気づいた大分の美しい自然

佐伯市立佐伯東小学校 6年
沢田 詩栞



「大人になったら都会に住みたいな。」

「えっ、私大分がいい。」

友だちと将来どこに住みたいかを話した時、私は大分がいい、と言いました。自然が豊かで大好きな星空がきれいに見えるからです。

だけど、友だちからは、

「えっ、大分って田舎で何もありませんよ。」と言われました。私は、大分ってそんなに魅力がないのかなあ、と寂しい気持ちになりました。

そんな時、歩こう大分!チャレンジ100キロ参加者募集、というCMを見ました。先人たちが築いた道に意識を向け、仲間とともにすばらしい「ふるさと大分」を見て、知って、体験しよう、というものでした。私はすぐに応募オーディションを受け、夏休みに5泊6日で大分を100キロ歩くことになりました。

初日、大分市今津留から七瀬川自然公園を經由し、野津原まで歩きました。広い川を見ながら、緑がきれいな河原を歩きました。その後、野津原を歩きました。

二日目三日目は、野津原から竹田市久住町や直入町を歩きました。初めて通る道ばかりで、わくわくしました。途中、清滝にも寄りました。清滝に向かって川沿いを歩く時、緑に囲まれてとても涼しかったのを今でも覚えています。清滝を見たときには、今までの疲れがすべて吹き飛び、体にかかる滝の水が冷たくて気持ち良かったです。

四日目は直入町から庄内町まで歩きました。とても自然が豊かでゆっくり時間が流れているようでした。たくさんの地域の方々が、

「がんばってね。」

と声をかけてくれたので元気ができました。

五日目は、鶴見岳登山をしました。初めはゆるやかな坂でしたが、どんどん急になり、一歩進むのも大変で、とてもきつかったです。でも、頂上について雲の間から見えた景色はとてもきれいで、頑張って登って良かったと思いました。

最終日は、由布市挾間町から田ノ浦ビーチを通り大分市今津留まで戻りました。これまでは、大分の美しい自然を見てきましたが、田ノ浦ビーチにはペットボトルやお菓子のゴミがたくさん散らばっていて残念な気持ちになりました。いつもは車の中から田ノ浦ビーチを見るだけでしたが、歩きながら見るとゴミの多さにとても驚きました。

5泊6日のチャレンジ100キロで一番感じたことは、食事のおいしさです。いつも食べているお弁当なのに、自然の中で食べるととてもおいしく感じました。自然には、疲れた体をいやす力や、食べ物をおいしくする力があるんだなと思いました。

ゆっくり歩いたからこそ気づいた大分の美しい自然を、これからもずっとずっと守っていきたいです。

今度の休みの日に、まずは田ノ浦ビーチに行ってゴミ拾いをしようと思います。